

令和４年度第１回芽室町総合計画審議会評価専門部会 議事録

令和４年７月２０日（水）１８：３０～２０：２５

中央公民館２階 講堂

■出席委員（１６名）

梅津委員、片桐委員、坂本委員、佐藤委員、田村委員、西村委員、花岡委員、飯島委員、岡田委員、後藤委員、小林委員、須崎委員、須藤委員、高橋（圭）委員、堀川委員、山田委員

■欠席委員（４名）

大塚委員、嶋野委員、高橋（広）委員、黒田委員

■事務局・説明員

村上政策調整係長、藤村主任、佐藤主事、角屋主事

中田政策推進課長補佐兼財政係長、佐々木総務課長、中島総務課長補佐兼危機対策係長、西田魅力創造課長、佐藤都市経営課長、齋藤都市経営係長、菅原住民税務課長、橋本環境土木課長、齋藤環境土木課長補佐兼生活環境係長、高橋水道課長、玉村水道工務係長、松久芽室消防署長

■オブザーバー

北海道大学公共政策大学院 武藤准教授

■１ 開会

嶋野部会長から遅れる旨の連絡があり、事務局（政策調整係長）が進行。

また、オブザーバーとして北海道大学公共政策大学院 武藤教授に２施策目までをご覧いただき、後日ご意見いただくこととした。

■２ 令和３年度（２０２１年度）施策評価について事務局より説明

■３ 調査事項（１）後期実施計画（素案）について＜資料４＞

◎「上下水道の整備」

部会長

この施策について、意見等はあるか。

委員

資料５６ページ「４ 施策を取り巻く状況変化・住民意見等」の住民や議会のどのような意見・要望が寄せられているかという欄に、「料金の適正化に努め」と記載があるが、

芽室町の水道料金は他市町村と比較するとどのような位置にいるのか。

高橋水道課長

十勝管内の１９市町村では、上水道分が３番目に高く、下水道分が１４番目に高い。トータルでは上から７番目となっている。

委員

５．施策の成果向上のための具体的な取り組み欄に「わかりやすい上下水道経営」の情報提供を実施していく。と記載があるが、どのような方法で情報提供を行っているのか。

高橋水道課長

毎月ホームページにおいて、経営状況などを公表している。

委員

６．経営戦略会議（庁内評価）の今後の取組に対する意見欄において、「５に記載の取り組みを進めてください。」と記載があるがどういう意味なのか。

村上政策調整係長

経営戦略会議とは町長、副町長、教育長のほか、各施策の担当課長から構成する会議体であり、各施策の担当課評価に対して二次評価を行った。今後の取組に対する意見については、資料の５．施策の成果向上のための具体的な取り組み欄において、各担当課が記載している取り組みを進めてくださいという意味である。

委員

意見であるが、３．施策の達成状況（２）③事務事業全体の振り返り（総括）欄に記載の「老朽化施設の再整備」について、水道というライフラインを守るために採算を度外視して進めなければならない部分があると思う。今後とも進めていただきたい。

事務局

評価について意見はあるか。

委員

（なし）

事務局

では担当課評価と同様にＣとしてよろしいか。

委員

(異議なし)

評価：Cランク

◎「消防救急の充実」

事務局

この施策について、意見等はあるか。

委員

警報器の設置率についてであるが、資料39ページ 3. 施策の達成状況(1) ①想定される理由欄において、①毎年度調査結果が上下しているが調査方法の振れ幅と考える。と記載があるが、振れ幅とはどういうことなのか。

松久芽室消防署長

警報器の設置率については、総務省から調査の基準が示されており、芽室町の規模(約8,000世帯)では毎年24世帯の調査で設置率を算出してよいとされている。ただ、調査対象が少ない場合においては、翌年の調査では調査結果が大幅に変わることから、振れ幅が大きくなる。芽室消防署では、150世帯を無作為抽出し、その内の50世帯において実態調査が完了した時点において、設置率を算出している。総務省の基準よりは実態に近く、精度が高いと言える。今後も調査件数を増やすことで精度を高めていきたいと考えている。

委員

成果指標設定の考え方③に記載の自主防災組織とはどのような団体なのか。

松久芽室消防署長

自主防災組織とは町内会の方々に立ち上げる団体で、災害訓練などを実施していただいている。コロナ禍により成果指標③は激減したが、少しずつ増加傾向となってきた。感染対策をしっかりとした上で進めていきたい。

委員

資料40ページ「4 施策を取り巻く状況変化・住民意見等」において、消防団員の定数確保と高齢化が課題とし、今後の予測として新規消防団員確保の取り組みを強化すると記載しているが、切迫した問題ではないか。

松久芽室消防署長

全国の消防団員の平均年齢は４２歳、芽室消防団員の平均年齢は４９歳であることから、高齢化していると言える。消防団と連携し、今の団員数を維持していきたいと考えている。

委員

少子高齢化によりなかなか若い人が確保されない。消防には公務員試験を受け、体力試験も突破したエリートしか入れないと思う。人員が確保されていない状況が続くと、施策そのものが遂行できなくなってしまう。人員確保に対する具体的な対応策はあるのか。

松久芽室消防署長

芽室消防署はとかち広域消防事務組合の組織に属している。芽室消防団は町の組織に属し、非常勤地方公務員という立場である。普段はそれぞれ自営業や会社勤めなどをされているが、非常時には災害対応していただいている。今までは個人事業主が多かったが、今後は民間事業所や農業従事者の方を回っていききたい。消防団は第１分団が市街地、第２分団は上美生。第１分団が少なく、これから声掛けしていきたい。

また、消防職員としては、とかち広域消防事務組合から４０名の職員が必要だと示されている。現在、事務局の派遣も含めて３６名勤務している。今後についても職員の採用計画を定めており、引き続き町民の生命・財産を守っていききたいと考えている。

委員

近年火災が多いと感じており、ゴミ焼きが原因なのかなと思う。どのような取り組みをしているのか。また、どのような事業所が多いのか。

松久芽室消防署長

令和３年度は火災出動件数が２０件と多かった。５件はゴミ焼き。ゴミ焼きは春と秋に多く、製造業の事業所が多い。ゴミ焼きを抑制するために、消防署員がパトロールしている。また、ＪＡめむろと連携し、農業者に対して全戸ＦＡＸでゴミ焼き防止のＰＲをしている。ただ、農業者にも事情があり、全てを違法とするわけにもいかない実態であるが、財産を失うこともあるため可能な限り止めていただくように呼びかけをしている。

委員

３．施策の達成状況（２）③事務事業全体の振り返り（総括）欄において、「酸素欠乏危険作業特別教育を受講させる」とあるが、どのような理由なのか。

松久芽室消防署長

硫化水素に関する事故が多く、知識がない場合は二次災害が発生する可能性があることから、受講させている。

委員

受講について法的義務があるのか、職員のレベルアップのために受講しているのか。

松久芽室消防署長

受講者が署に何人いなければならない、というような法的義務はなく、職員や町民が二次災害に巻き込まれないために知識を取得するもの。

委員

民間事業所では酸素欠乏に関する有資格者が何名いなければならないという規定があるが、消防署ではないということか。

松久芽室消防署長

民間事業所の実態は把握していないが、消防署は硫化水素が発生する施設ではないことから、職場に何名以上の有資格者がいなければならないという規定はない。救助における硫化水素の事故は多いことから、特別教育を受講させるという考えである。

委員

硫化水素とおっしゃるが、酸素欠乏は同じ意味なのか。

松久芽室消防署長

地下やタンク内では、硫化水素が発生することで酸素欠乏となる。

委員

芽室の消防車は特注であると聞いたが、車両価格は高いのではないのか。

松久芽室消防署長

芽室の消防車で他自治体と異なる点は、水をいれるタンクを積んでいる。農村部の火災では水源がない場合もあることから水を積んでいる。統一化は進めているが地域性もあり、完全には統一されていない。ただ、職員の異動もあるため、異動先で車両の操作できないということがないように、統一化は必要だと考えている。

委員

装備などが統一された消防車はないのか。

松久芽室消防署長

北海道モリタが道内統一した消防車を提供しているが、芽室消防署の多くの消防車は特注である。

委員

ゴミ焼きについて、農業者ではこういったものを燃やしているのか。また、ダイオキシンの問題はないのか。

松久芽室消防署長

農業者の中には防風林の枝や長いもネットを燃やしている人もいる。ダイオキシンは消防の担当ではないが、役場や振興局と連携して抑制していきたい。

事務局

評価について意見はあるか。

委員

(なし)

事務局

では担当課評価と同様にDとしてよろしいか。

委員

(異議なし)

評価：Dランク

◎「住民自治の実現と地域の活力の維持」

事務局

この施策について、意見等はあるか。

委員

資料59ページ「2. 施策の事業費」について、2020年度決算から2021年度決算で施策の事業費が93,000千円ほど上がった理由は。

西田魅力創造課長

地域集会施設を２つ改修したことによる影響である。

委員

資料６０ページ「５．施策の成果向上のための具体的な取り組み」において、まちなか再生においても常に住民参加を基本とし、住民自治のまちづくりの具現化を目指す。と記載されているが、具体的にはどのように進める予定なのか。

西田魅力創造課長

住民参加は、住民の皆さまに会議に参加いただき、住民の皆さまが決定して進めていくもの。役場がやりたいようにやるということではなく、役場は皆さまの意見を具現化するように進めていく。現在、まちなか再生における会議ではそのように進めている。

委員

この施策は町民の意識が問題だと思う。行政の立場としてお金をかけるだけでは成果指標の向上は難しいのではないか。

西田魅力創造課長

町民の中でも自ら行動しようとする方も多く、会議では引っ張っていただいている。お金をかけるだけではなく、規制の緩和など行政にしかできないこともある。最終的には町民が幸せと感じていただけるようにしていきたい。

委員

地域コミュニティ活動の活性化においては、拠点が重要であると考える。地域集会施設ではコミュニティ活動での使用あれば減免になるが、町内会などから中央公民館、駅前プラザにおける使用実績は把握しているか。

西田魅力創造課長

使用実績は把握していないが、役場に対し、町内会などから利用料の減免について問い合わせがあることは把握している。

委員

地域福祉館の計画は理解しているが、利用者の自宅から５００メートルの範囲で必要だと思う。耐震化の問題などで施設は減らしていく傾向であるが、規模が小さくても必要なのではないか。拠点が近場にあつてこそ地域コミュニティが活性化する。地域の声を良く聞いて丁寧に対応いただきたい。

齋藤都市経営係長

地域活動の拠点となる集会施設は、避難場所、高齢者の健康増進の場所などの意味として整備してきた。時間はかかるかと思うが、使っていただいている地域の方と意見交換させていただき、丁寧に進めていきたい。

西田魅力創造課長

ソフト面においては、町内会連合会とも今後の地域コミュニティの活性化について話し合いながら検討・実践していきたい。

委員

地域のアンケートでは空き家の活用なども意見としてあったが、様々な知恵を出して拠点を作っていくべきである。

西田魅力創造課長

意見としてお受けするが、地域住民の方とはしっかり対話をして進めていく。

委員

成果指標①について、地域の活動とはどのような幅で捉えたら良いのかを伺いたい。また、他市のアンケートでは地域の活動について、町内活動、PTA活動などと選択できた。芽室町の住民意識調査においても採用してはどうか。

西田魅力創造課長

住民意識調査では地域の活動は決めておらず、回答者が自分でどこまでが地域の活動なのかということを判断していただいて、自由に回答いただくこととしていた。ただ、おっしゃるとおり、活動を羅列するのか、自分で判断するのかどちらにしても説明はあった方が良いため、次回の住民意識調査実施の際は検討させていただく。

事務局

評価について意見はあるか。

委員

(なし)

事務局

では担当課評価と同様にCとしてよろしいか。

委員

(異議なし)

評価：Cランク

◎「効果的・効率的な行政運営」

事務局

この施策について、意見等はあるか。

委員

成果指標③（町の行政サービスに満足している町民の割合）が令和３年度実績では82.9%であるのに対し、成果指標②（職員満足度）は64.6%となっている。そして、3. 施策の達成状況（１）②根拠（理由）欄に、「職員満足度は、目標値との乖離が大きく、目標達成は難しい」との記載があるが、原因はどのように捉えているか。

佐々木総務課長

町民の行政サービスに満足している町民の割合と職員満足度の乖離について、原因は特定できない。他の自治体によるアンケート調査における職員満足度と比較すると、芽室町の64.6%は低いわけではない。ただ、職員が満足して働くことが、町民が満足する行政サービスに繋がるとは考えている。引き続き職員満足度が向上するような取組を考えていきたい。

委員

資料63ページ「3. 施策の達成状況」（2）③事務事業全体の振り返り（総括）に記載があるRPAとは、どういう意味なのか。

佐々木総務課長

ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、機械的に事務処理を行う仕組みである。現在は契約事務に適用している。導入後は30%業務時間が削減している。

委員

導入は何年前なのか。費用対効果としてはどのように捉えているのか。

佐々木総務課長

2～3年前に導入したと把握している。システムに関する年間の費用はあるが、人件費なども含めて効果的である。

委員

成果指標②（職員満足度）について、職員が仕事に対して喜びを感じるのはどのような時なのか。

佐々木総務課長

職員一人ひとり満足する尺度は異なり、色々な理由があると思う。統一的な回答は難しいが町職員である以上、町民の笑顔や感謝の言葉をかけていただいた際に満足すると感じる職員は多いと思う。

委員

庁舎の電気が遅い時間まで煌々と明かりがついているのを目にするが、職員は忙し過ぎるのではないか。職員が足りないのか。

佐々木総務課長

芽室町に限らず全国の自治体職員が忙しくなっていると思う。町民のニーズが多様化していることで、自治体職員が担う仕事は増えてきていることは事実だと思う。ただ、時期的に忙しさは異なるため、職員数が足りないという状況ではない。節電の問題はあるが、やらなければならない仕事があれば遅くまで残ることもある。

委員

職場の電気は部分的につけることはできるのか。

佐々木総務課長

可能である。業務時間外では全体的に電気を間引いた上で、必要な範囲で部分的に電気をつけている。

事務局

評価について意見はあるか。

委員

（なし）

事務局

では担当課評価と同様にCとしてよろしいか。

委員

（異議なし）

評価：Cランク

◎「健全な財政運営」

事務局

この施策について、意見等はあるか。

委員

芽室町の財政運営について、どのように捉えているか伺いたい。

中田政策推進課長補佐兼財政係長

芽室町の財政運営についてであるが、年間予算は120～130億円で推移してきている。限られた予算の中で様々な事業を進めている。

新庁舎の建設費用では約30億円かかっているが、一括では払えないため何年かに分けて平準化を図りながら借金をしている。借金と聞くと大丈夫なのかと心配されるかと思うが、毎年、国から全国で統一した財政指標が出ており、その指標の目安にするものが成果指標②健全化判断比率となる。令和3年度の将来負担比率はまだ未公表のものであるが、72.9%になる見込み。この将来負担比率は庁舎建設や温水プール建設などの大型事業があれば必ず数値が上がっていくことになるが、将来負担比率が100%、200%にならないように事業のスクラップ&ビルドを徹底して財政運営を進めている。

委員

コロナ禍で借入を行った町内事業者が多いと思う。これから返済の時期に入ると思うが、町としての支援はあるか。また、どのように考えているのか。

中田政策推進課長補佐兼財政係長

コロナの影響で売り上げが落ちていることは承知しており、コロナが収まっていない状況ではこれからも影響は続くと思う。コロナに対する支援や対応は町だけで対処できるものではなく、国の交付金などがあつた上での支援となることから、今後も国と北海道と連携して事業者への支援になることを進めていきたい。

事務局

評価について意見はあるか。

委員

(なし)

事務局

では担当課評価と同様にDとしてよろしいか。

委員

(異議なし)

評価：Dランク

◎「親切・便利な行政サービスの推進」

事務局

この施策について、意見等はあるか。

委員

成果指標②（町民の行政サービスに満足している町民の割合）について、公共施設の利用予約に不便さを感じている。手続きが利用者目線になっていないという声も耳にしている。施設利用の行政サービスについてどのように考えているか。

佐々木総務課長

この施策では町民が窓口でなるべく負担が少ないように押印廃止などを進めている。国において自治体DX計画というものがあり、全国的に令和8年3月を目途に共通的な手続きは電子化していくというもの。

また、自治体DX計画と併せて、施設予約についても芽室町独自のサービスとして電子化などを検討していく予定である。

委員

公共施設の利用予約は利用者の声を聞いて進めていただきたい。具体的には利用日の1か月前から予約可能ではなく、3か月前から予約可能としてほしい。これからも使いやすいルールにしていきたい。

事務局

評価について意見はあるか。

委員

(なし)

事務局

では担当課評価と同様にDとしてよろしいか。

委員

(異議なし)

評価：Dランク

■ 4 その他

事務局

以上で本日の調査事項が全て終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

部会長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

(質問なし)

■ 5 閉会

それでは、これで本日の専門部会を終了する。

20：25